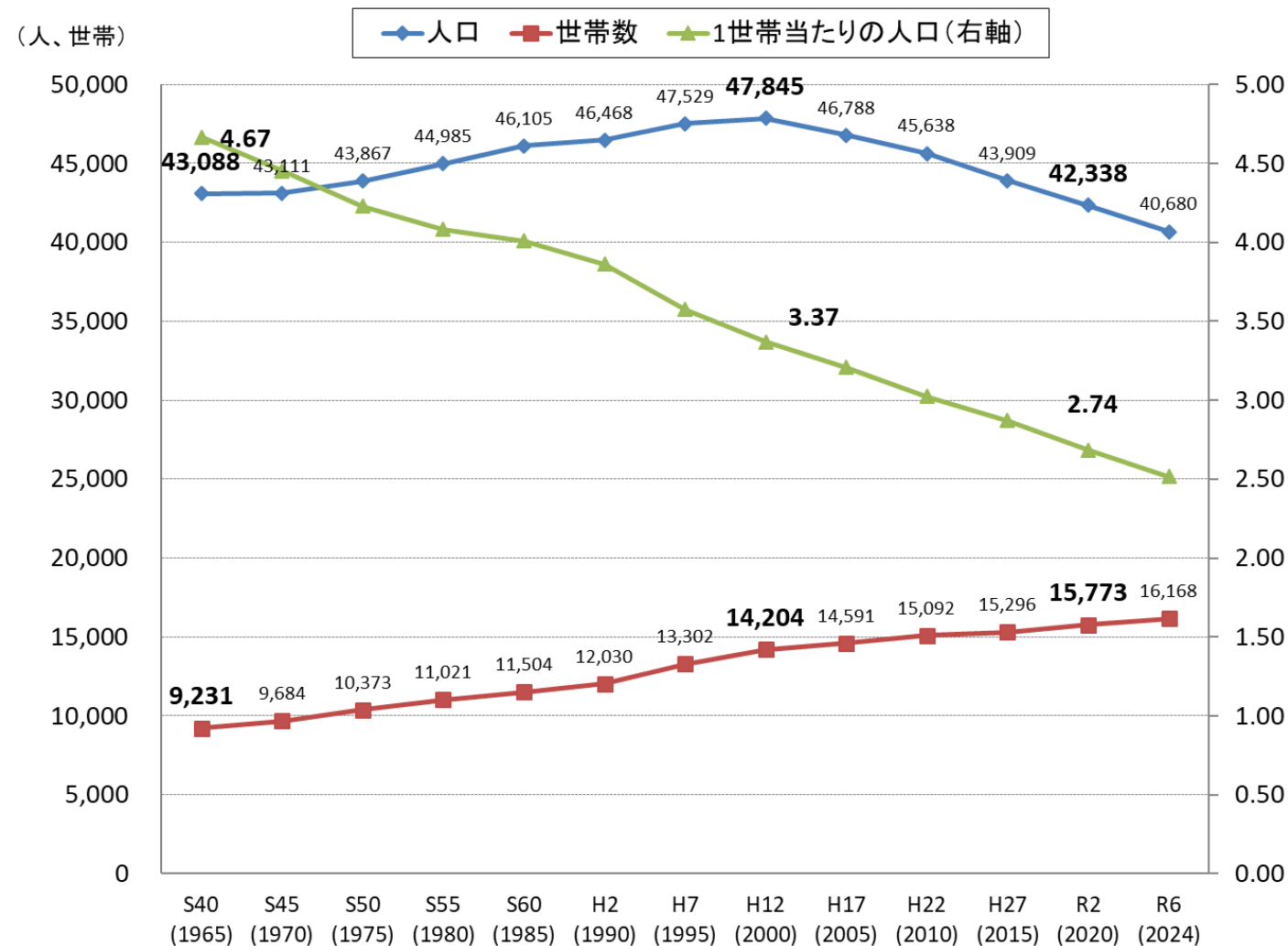


中野市の現状と 今後の施策について

中野市の人口の推移①

人口と世帯数の推移

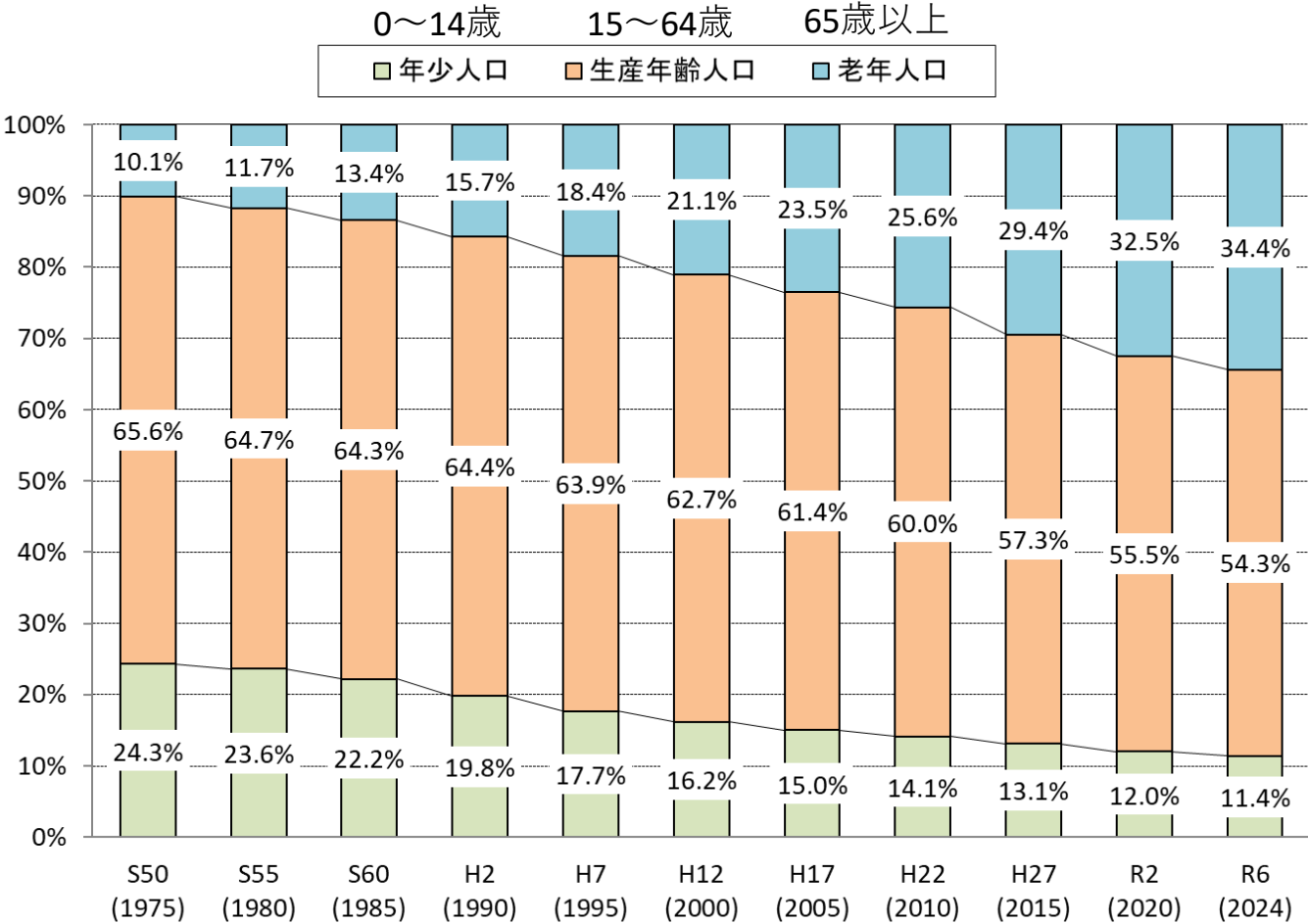


(資料)総務省統計局「国勢調査」、長野県「毎月人口異動調査」

- 平成12年をピークに人口減少に転じる一方、世帯数は一貫して増加。
- 世帯当たり人口は3人を下回り、核家族化、単身世帯が増加。

中野市の人口の推移②

年齢3区分別 人口構成の推移



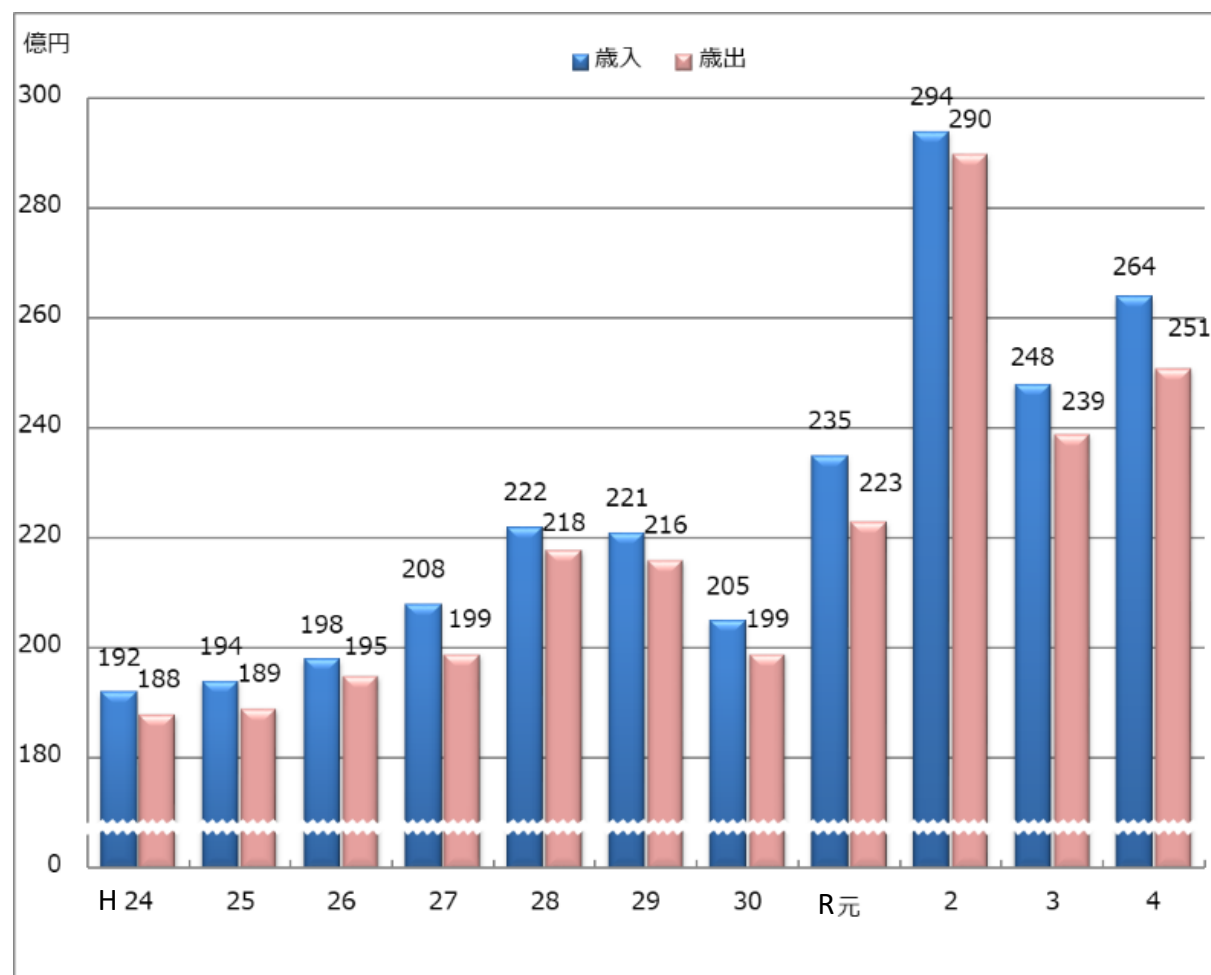
(資料) 総務省統計局「国勢調査」、長野県「毎月人口異動調査」

人口 43,867人 44,985人 46,105人 46,468人 47,529人 47,845人 46,788人 45,638人 43,909人 42,338人 40,680人

- 少子高齢化の傾向が継続。

中野市の財政状況①(令和4年度決算)

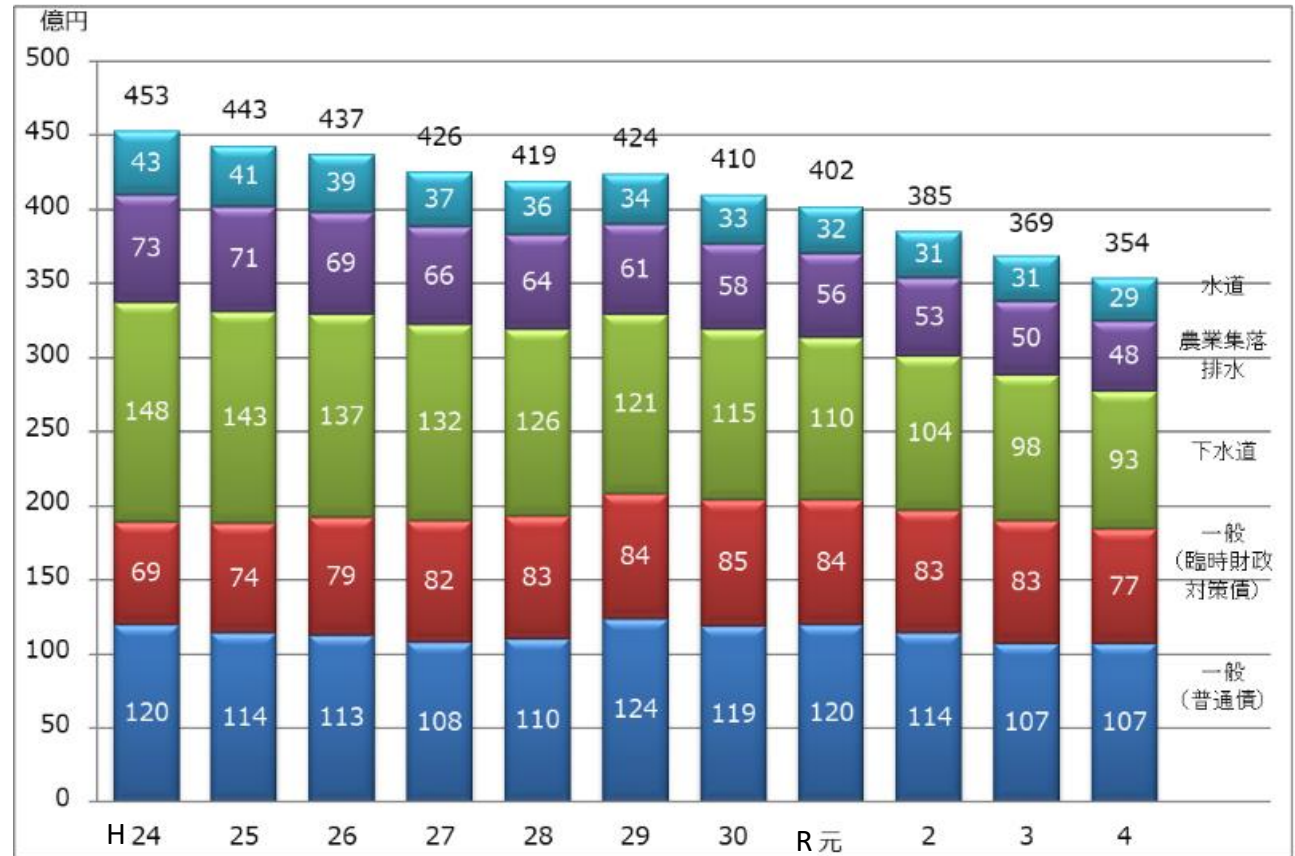
■一般会計決算額の推移



- 令和2年度に歳入・歳出ともに大きく額が増加
➡新型コロナウイルス感染症緊急経済対策である特別定額給付金事業(1人10万円の給付)等が主な要因

中野市の財政状況②(令和4年度決算)

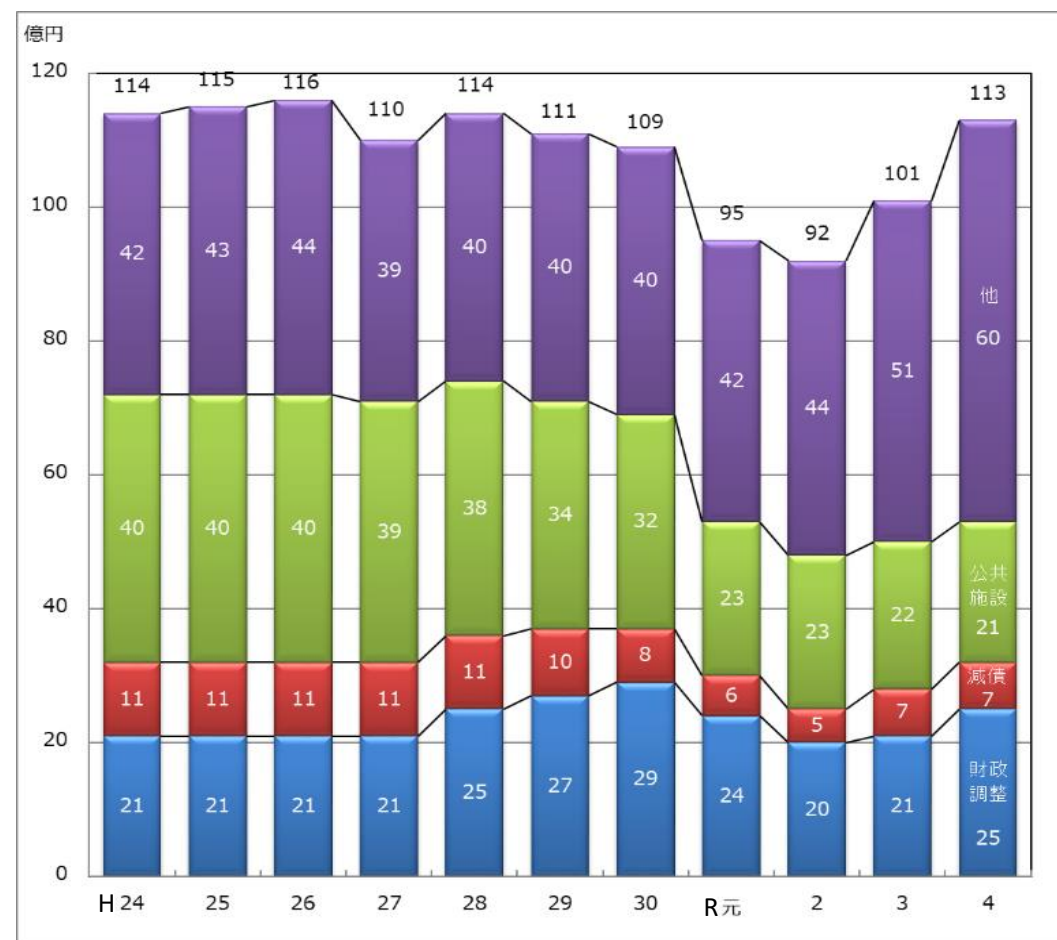
市債残高の推移



- 市債残高は着実に減。
- 市債の借入にあたっては、可能な限り地方交付税措置がある有利な地方債を借り入れることで、将来の負担の抑制に努めている。

中野市の財政状況③ (令和 4 年度決算)

■ 基金の推移



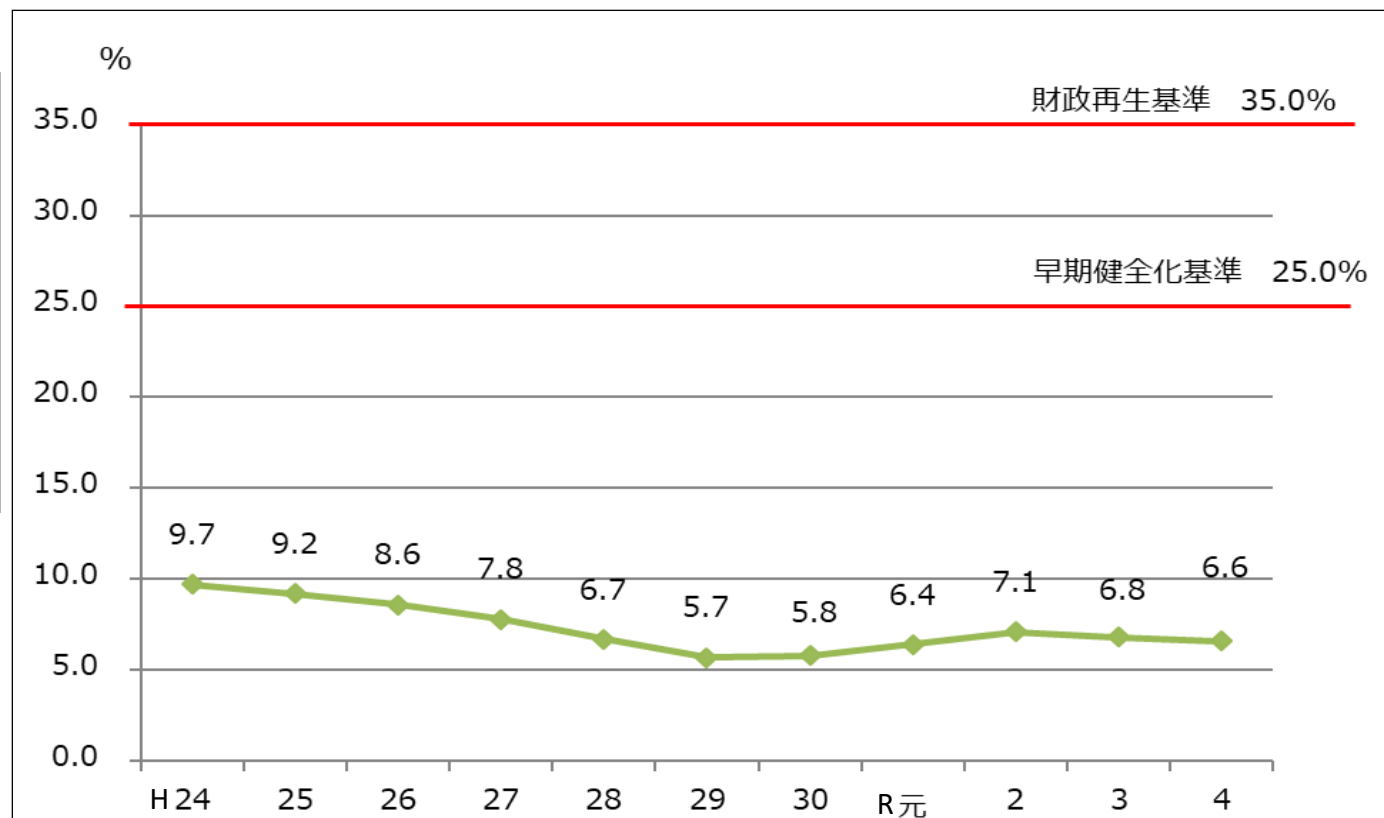
- 財政調整基金は、適正な規模を確保。
- その他の特定目的基金についても、一時的かつ中長期的に対応できるよう計画的に積立・取崩しを行っている。

中野市の財政状況④(令和4年度決算)

■実質公債費比率の推移

実質公債費比率とは...

入金（地方債）の返済額などの程度を示す。数値が大きいほど、返済の資金繰りが厳しいことを表す。



- 本市の指標は早期健全化基準(25%)を下回っている。

第2次中野市総合計画（後期基本計画）の振返り

・ 後期基本計画(R4～R7)の5つの重点プロジェクトを中心に、主な実績を振返ります。

■重点プロジェクト1 若い世代が集まり育つまちを創る

<主な実績>

- (1) 小・中学校の給食費の軽減
- (2) 子育て支援拠点施設HUBLICの創設
- (3) 新婚・子育て家庭への補助
- (4) 空き家の利活用

<重点プロジェクトの成果指標>

指標名	R2実績	R7目標	直近の数値
30歳代の転入者数	287人	299人	304人
0～19歳の人口	6,902人	6,792人	6,647人

第2次中野市総合計画（後期基本計画）の振返り

■重点プロジェクト2 市民がチャレンジしやすいまちを創る

<主な実績>

- (1) 中心市街地にZENYAを整備
- (2) バラまつり専用駐車場の創設
- (3) ふるさとパークの整備、文化公園再整備(アーチェリー場)
- (4) 市民会館リノベーション

<重点プロジェクトの成果指標>

指標名	R2実績	R7目標	直近の数値
新規就農者数	108人	113人	82人
創業企業(工業)	0件	3件	0件
創業企業(商業)	1件	3件	2件
市民活動団体への支援	8件	9件	4件

第2次中野市総合計画（後期基本計画）の振返り

■重点プロジェクト3 産業や活動が大きく育つまちを創る

<主な実績>

- (1) 信州なかのブランド・ファンの育成
- (2) マルシェ開催事業への補助
- (3) 産地生産基盤パワーアップ事業を実施

<重点プロジェクトの成果指標>

指標名	R2実績	R7目標	直近の数値
農業付加価値額	約53.9億円	約54.0億円	約58.8億円
製造品出荷額	約1,160億円	約1,200億円	約1,085億円
卸・小売業販売額	約772億円	約829億円	約921億円
歩行者通行量	日曜:1,115人 平日:2,125人	日曜:1,779人 平日:3,520人	日曜:1,256人 平日:1,358人

第2次中野市総合計画（後期基本計画）の振返り

■重点プロジェクト4 健康で安心して暮らせるまちを創る

<主な実績>

- (1) 高齢者在宅サービス事業
- (2) 子どもとお年寄りのふれあい拠点

<重点プロジェクトの成果指標>

指標名	R2実績	R7目標	直近の数値
健康寿命（男性）	80.79年	健康寿命 の延伸	81.40年
健康寿命（女性）	84.20年	健康寿命 の延伸	84.40年

第2次中野市総合計画（後期基本計画）の振返り

重点プロジェクト5 行財政改革により持続可能なまちを創る

< 主な実績 >

- (1) 「書かない窓口」の導入
- (2) DX※の推進、アウトソーシング
- (3) 公共施設の縮減、利活用

※DXとは...
デジタル(Digital)と変換(Transformation)という意味の言葉で、デジタル技術を浸透させることで、人々の生活をより良いものへと変換することを意味します。

< 重点プロジェクトの成果指標 >

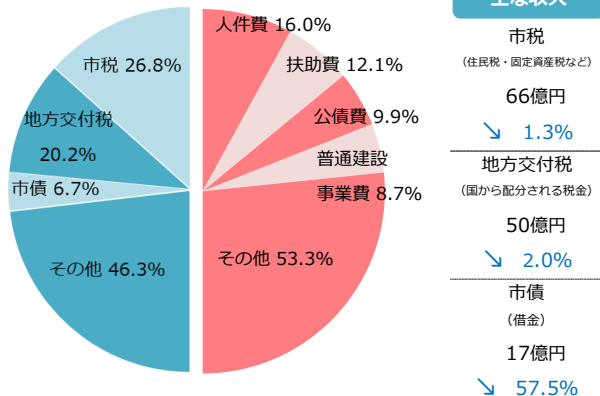
指標名	R2実績	R7目標	直近の数値
公共施設の延べ床面積	209,366㎡	171,615㎡	189,760㎡

令和6年度 中野市 一般会計 当初予算案

総額 247 億円

※表示単位以下、四捨五入

主な収入



主な支出

主な使途

民生費		5年度当初比
障がい者・高齢者・児童	82億円	15.6%
総務費		
企画・財産・徴税・戸籍	31億円	-47.0%
土木費		
道路・河川・公園	29億円	-8.4%
公債費		
借金の返済	25億円	1.9%
商工費		
商工業・観光	20億円	9.7%
教育費		
学校・給食・図書館	20億円	8.0%
衛生費		
健康・生活環境	15億円	3.6%
農林水産業費		
農業・林業	14億円	8.3%

新たな試み！資源活用

ゼロ予算事業を展開

財政状況が厳しさを増す中で、事業予算を使わずに今ある設備や人材を最大限に活用し、本来業務とはひと味違った事業を展開していきます。

- ・お出かけ市長室～まちづくり意見交換会の開催
- ・教育相談コーディネーターによる不登校支援
- ・高齢者向けスマホ講習会の開催
- ・起業・事業拡大支援チームの設置
- ・YouTube活用による情報発信 etc.

子育て支援の拡大、膨らむ安心

学校給食費を最大6割軽減に拡大

令和5年度で3割から5割軽減にした市内小中学校の児童生徒の給食費を、物価高騰に伴う学校給食費の単価見直しに対応し、さらに実質最大6割軽減にすることで、保護者の経済的負担の軽減を図り、より一層子育て施策を充実します。

この他に、従来0歳から15歳までが対象であった医療費給付は、対象年齢を18歳まで拡大します。（「子ども医療費給付金事業」）

また、子どもの出生前の段階から、葉酸サプリメントの提供（「健康をこどもにつなぐ事業」）や生活環境の変化に対応する知識等の習得機会の提供など（「もうすぐババママ教室」）、子育ての不安を減少できるような支援します。保育園では、遊戯室にも空調設備を設置し園児が安心して快適に遊べる環境を整え（「保育所遊戯室空調設備設置事業」）、令和5年度に整備したDX環境を保護者の利便性の向上と保育士の負担軽減のため引き続き活用を図り、より良い保育環境に繋がります。その他の主な子育て支援策は次のとおり。

- ・オプショナル新生児スクリーニング検査費用助成事業（新規）
「原発性免疫不全症」「脊髄性筋萎縮症」の検査費用を助成
- ・CAP（子どもへの暴力防止）プログラム事業（新規）
児童、保護者、教職員を対象としたワークショップの実施
- ・小・中学生スポーツ活動事業補助金（新規）
大会出場に要する参加費の一部補助
- ・使用済み紙おむつ回収事業（継続）

災害に備える

令和6年能登半島地震を受けて、多目的に活用できるブルーシートなどを追加備蓄し、パレットやかご台車などを購入し、備蓄品の保管環境の最適化に努め、災害時には迅速な搬入が行えるよう取り組みます。

新たに導入する「地域情報配信システム」では、災害情報の伝達手段としての役割も担い、市民の皆さんは、スマホを活用することで、逃すことなく正確かつ迅速に災害情報を受け取れるようになります。

また、住宅では、安全性向上のため、耐震改修費の補助を継続させ、農業では、風雪被害に備え、耐候性のあるハウスや果樹棚等の整備費の補助を新たに、道路や水路では、浸水被害等に備え、引き続き計画的に補修や整備などを行い、災害に備えたまちづくりを推進します。

繋がる多様性・新たな縁を生む

(参考)

選択できる第3の居場所、誰にでも

不登校の子どもが安心して過ごせる居場所として利用できるよう、フリースクールの利用料の一部を補助します。（「フリースクール利用者助成事業」）

「図書館リニューアル整備事業」として、遊具などを置いた見守りと交流ができる"動"の空間と、仕事や勉強を集中してできる"静"の空間を作り、小さい子どもを連れた子育て世代を含め、幅広い世代が集える居場所を創出します。

子ども以外でも、eスポーツを活用して誰も集える場所、高齢者の外出・交流できる場所を創出する「多世代交流可能な3rdプレイス創出事業」を展開し、また、障がい者が利用できるアーチェリー場の整備を引き続き進め、様々な人が繋がり、新たな縁となる機会を提供することで、地域の支え合いを促進し、市民一人ひとりが繋がり、国内外とも繋がるまちづくりを目指します。

縁から発信する中野市の魅力

縁で生まれる交流・関係人口

令和6年度には、中山晋平先生を題材とした映画公開の記念事業、高野辰之博士作詞の唱歌誕生110周年の記念事業や、ソソラホール開館の記念事業を展開し、ソソラホールでは本市出身の作曲家、久石譲氏によるコンサートを開催するほか、同じく本市出身の漫画家、宮島礼氏との「タイアッププロモーション戦略事業」を展開するなど、市で紡がれてきた縁そしてこれから紡がれる縁により、市の魅力ある取り組みを国内外に効果的に発信し、交流人口及び関係人口の創出・拡大を促進し、地域の活性化を図ります。

また、個人の縁だけでなく、企業立地の促進や雇用機会を創出し、地域の活性化を図るとともに、そこから税収の増加に繋がるよう、企業に対する助成事業（「中野市商工業振興条例」）によるインセンティブを広く周知していきます。



第3次中野市総合計画の重点施策（案）

- 第3次中野市総合計画(R8～R15)の5つの重点施策（案）を紹介します。

■重点施策1 子育て支援

- (1) 子育て支援施策の充実(経済負担軽減等)
- (2) 小・中学校教育の充実
- (3) 多様な学びの選択と提供

■重点施策2 若者・女性活躍

- (1) 女性活躍の推進
- (2) 若者の活躍と居場所づくり

第3次中野市総合計画の重点施策（案）

■重点施策3 移住・定住・関係・交流人口の増加

- (1) ふるさとゆかりの人との交流の促進
- (2) 観光スポーツ・文化の振興
- (3) 移住支援の充実
- (4) 空き家活用の推進

■重点施策4 産業振興

- (1) 企業誘致・企業立地の推進
- (2) 起業支援の促進
- (3) 農業・商業・工業の振興

■重点施策5 市民参加と生きがい・安全 安心なまちづくり

- (1) 地域コミュニティ活動の推進
- (2) 健康長寿・高齢者活躍の推進
- (3) 災害に強いまちづくりの推進
- (4) 地球環境保全の推進
- (5) 公共施設の最適化